

福島第一原子力発電所の状況

平成 23 年 11 月 27 日
東京電力株式会社

<タービン建屋地下のたまり水の処理>

高濃度の放射性物質を含むたまり水の処理設備及び貯蔵設備の状況

[処理設備]

- ・6/17 20:00 放射性物質除去装置の本格運転を開始。
- ・6/24 12:00 淡水化装置(逆浸透膜型)における処理を開始。
- ・6/27 16:20 循環注水冷却を開始。
- ・8/7 16:11 蒸発濃縮装置の本格運用を開始。
- ・8/19 19:33 第二セシウム吸着装置(B系ライン)を起動し、セシウム吸着装置および除染装置との並列運転によるたまり水の処理を開始。19:41 定常流量に到達。

[貯蔵設備]

- ・6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付中。

トレンチ立坑・各建屋地下のたまり水の移送状況

号機	排出元	移送先	移送状況
1号機	・1号機タービン建屋	2号機タービン建屋	・11/25 14:54～11/27 9:38 移送実施
2号機	・2号機タービン建屋 減容処理建屋(高温焼却炉建屋)	集中廃棄物処理施設[雑固体廃棄物]	・11/10 9:10～ 移送実施中
3号機	・3号機タービン建屋	集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋]	・11/15 9:25～ 移送実施中
6号機	・6号機タービン建屋	仮設タンク	・11/27 移送予定なし

移送先	移送先の水位状況 (11/27 7:00 時点)
プロセス主建屋	水位: O.P.+ 2,089 mm(水位上昇累計:3,306 mm) 11/26 7:00 から 36 mm 上昇
雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)	水位: O.P.+ 2,048 mm(水位上昇累計:2,774 mm) 11/26 7:00 から 59 mm 下降

トレンチ立坑・タービン建屋・原子炉建屋の水位 (11/27 7:00 時点)

	トレンチ立坑	タービン建屋	原子炉建屋
1号機	O.P. < + 850 mm (11/26 7:00 と同じ)	O.P.+ 3,296 mm (11/26 7:00 から 358 mm 下降)	O.P.+ 4,105 mm (11/26 7:00 から 46 mm 下降)
2号機	O.P.+ 3,047 mm (11/26 7:00 から 28 mm 上昇)	O.P.+ 3,056 mm (11/26 7:00 から 25 mm 上昇)	O.P.+ 3,164 mm (11/26 7:00 から 25 mm 上昇)
3号機	O.P.+ 3,260 mm (11/26 7:00 から 12 mm 下降)	O.P.+ 3,015 mm (11/26 7:00 から 14 mm 下降)	O.P.+ 3,226 mm (11/26 7:00 から 16 mm 下降)
4号機	-	O.P.+ 3,039 mm (11/26 7:00 から 4 mm 下降)	O.P.+ 3,057 mm (11/26 7:00 から 12 mm 下降)

< 放射性物質のモニタリング >

海水核種分析結果(参考値) 10/24 採取分より、放射能濃度の検出限界値を下げる取り組みを開始。

採取場所	採取日	採取時間	濃度限度比(倍)		
			ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
福島第一 5,6号機放水口北側約 30m	11/26	8:20	ND	0.20	0.14
福島第一 1~4号放水口南側約 330m	11/26	8:45	ND	0.04	0.03

・その他、11/26 に採取した沿岸2地点における主要3核種(ヨウ素-131、セシウム-134,137)については全てND。

< 使用済燃料プールの冷却 > (11/27 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中(8/10 11:22~)	15.5
2号機	循環冷却システム	運転中(5/31 17:21~)	17.5
3号機	循環冷却システム	運転中(6/30 18:33~)	20.7
4号機	循環冷却システム	運転中(7/31 10:08~)	23

[2号機]・11/6~ 使用済燃料プール放射性物質除去装置の運転を開始。

[3号機]・11/27 午前2時頃、使用済燃料プール代替冷却設備の1次側の熱交換器出入口の温度差が小さくなっていることを確認(入口温度19.7、出口温度19)。直ちに使用済燃料プールの冷却に大きな影響を与えるものではないことから、同日朝、現地調査を実施することとした。午前6時33分頃、現地調査の結果、散水用の水の元弁が閉まっていることを確認したことから、開操作を実施するとともに、散水の水張りを実施。その結果、出口側の温度が下がっていることを確認(11月27日午前7時現在、入口温度20.3、出口温度15.1)。このことから、原因は元弁が閉まっていたことにより冷却水が供給されていなかったものと判明。元弁が閉まっていた原因については、今後調査予定。(1次側熱交換器入口温度=使用済燃料プール水温度)。

< 原子炉圧力容器への注入・原子炉の状況 > (11/27 11:00 時点)

号機	注入状況	給水ノズル温度	原子炉圧力容器下部温度	原子炉格納容器圧力
1号機	淡水注入中 (給水系:約4.5 m ³ /h)	41.0	42.0	116.5 kPaabs
2号機	淡水注入中 (給水系:約3.1 m ³ /h, 炉心スプレイ系:約4.5 m ³ /h)	68.2	74.1	111 kPaabs
3号機	淡水注入中 (給水系:約1.9 m ³ /h, 炉心スプレイ系:約6.0 m ³ /h)	58.5	67.5	101.6 kPaabs

1号機原子炉格納容器圧力について、数値に誤りのある可能性が確認されたため、現在調査中。

[4号機][5号機][6号機]特に変化なし。

< その他 >

・10/7~ 伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止を目的として、5,6号機滞留水浄化の水を利用し、散水を継続実施中。

・2号機圧力抑制室ガス温度について、11月26日午後5時時点、52.7 を示していたが、同日午後11時、「オーバースケール」表示(デジタルレコーダ)になっていることを確認。その後、11月27日午前5時時点は、102.6 を示しており、指示値が不安定であるが、同種の温度計2ヶ所および圧力抑制室プール水の温度変化に有意な変化が見られなかったことから、計器の不具合の可能性も含め、原因を調査中。

・2号機原子炉格納容器(ドライウェル)内の温度(局部冷却設備である空調ユニットの戻りライン温度)は、11月27日午前5時時点で78.2 を示していたが、同日午前6時50分、約84 にステップ状に上昇していることを確認した。一方、原子炉圧力容器底部および圧力抑制室プール水の温度変化については、原子炉格納容器(ドライウェル)内の温度変化と比べて小さく、有意な変動はないことを確認。

現在、原子炉への注水については、下記の通り減少させていることから、原子炉格納容器内の温度が上昇することが考えられるが、ステップ状に上昇したのが、5ラインのうちの1つであり、他の4ラインには同様の変化が見られなかったことから、計器の不具合の可能性も含めて、現在、原因を調査中。引き続き温度を監視する。

- ・11月24日午後7時11分、炉心スプレイ系からの注水量を約7.2m³/hから約5.6m³/hに調整(給水系は約2.9m³/hで継続)
- ・11月26日(午前10時18分~午前11時2分)、炉心スプレイ系からの注水量を約5.5m³/hから約4.5m³/hに調整(給水系は約3.0m³/hで継続)

以上